

# 2024年度 IDOP 迫害下の教会のための国際祈禱日

## 祈りのガイド

### 1 ラオス

仏教国のラオスでは、クリスチャンは少なく、760万人の人口に対して、21万2千人ほどで、少数派です。近年、ラオスでは迫害が厳しさを増しています。クリスチャンに対する暴力が増え、心を痛める状況となっています。2022年には牧師が殺害されるという事件も起こりました。クリスチャンが地域コミュニティから追放されたり、家を破壊されたりしています。多くのクリスチャンが、深刻な苦難の中で忍耐をもって信仰を守っています。

2023年6月、ラオスのある州（Khammoune Province）では牧師を含む6名のクリスチャンが、ある村で祈り会をしている時に逮捕されました。地域当局はこのような継続的にクリスチャンの活動を取り締まっていることが分かります。彼らはクリスチャンたちを見張り、頻繁に家の教会を閉鎖させるのです。

登録されているラオス福音派の信徒の推定75%は、宗教的な集まりのために、当局から違法な場所とみなされている自宅で礼拝することを余儀なくされています。

仏教からキリスト教に回心した人々はさらなる危険に直面することになります。彼らは、地域コミュニティから裏切者と見なされるからです。家族と地域当局の両方から暴力を受けたり、追い出されたり、圧力をかけられて、苦しんでいます。多くのクリスチャンホームが信仰を捨てるか、家を破壊されるかという圧力を受けているのです。



#### 祈りの課題

1. ラオスのクリスチャンが強められ、守られ、励まされるように。特に信仰のゆえに暴力を受け、拘束され、追放されているクリスチャンのために。
2. 教会のリーダーは、敵対的な環境の中で、教会のクリスチャンを導いていくという難題に取り組んでいます。彼らに神さまの知恵と識別力が与えられるように。
3. ラオス政府が憲法に保障されている信教の自由を保つことができるように。特に田舎の地域で起こっているクリスチャンの迫害を、政府が介入して止めさせるように。
4. 仏教からキリスト教に改宗した人たちのために。家族や地域から拒絶されても勇気を出せるように、支えられるように。
5. ラオスで迫害を受けているクリスチャンのために。世界からこれまで以上に関心が寄せられ、国際社会がクリスチャンの権利のために声を上げ、具体的な支援が届けられるように。

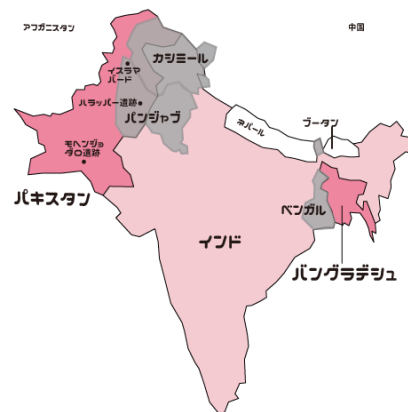
## 2 パキスタン

パキスタンのクリスチャンは、人口の1.8%程度の少数派です。彼らに対する迫害は厳しさを増し、憂慮すべき状況にあります。2023年8月16日、ジャランワラでは、イスラム教に対する冒瀆罪という理由で、複数の教会とクリスチャンの家が攻撃され、破壊されました。このようにパキスタンの教会は、社会的な弱者となっています。冒瀆罪は、クリスチャンを標的として、不公平に使われることが多いのです。この法律がクリスチャンと教会に対する暴力や差別を煽っています。

クリスチャンの女性と少女たちの状況は特に悲惨です。彼女たちは拉致され、イスラム教に改宗することを強制され、性的暴行を受けています。2024年7月1日には15歳のクリスチャンの少女が性的暴行を受けるという事件が起きました。しかし、警察はこれを見なかったことにして、正義が踏みにじられました。こうした出来事は、パキスタンでクリスチャンに対する差別がいかに深刻であり、法律による保護が欠けていることを示しています。このようなおぞましい出来事で、クリスチャンに恐れと無力感が起こり、被害者は深刻なトラウマを受け、正義への希望を失ってしまいます。

構造的な差別によって、クリスチャンは社会の片隅に追いやられています。彼らの仕事の機会は単純労働に限定され、卑劣なレッテルを貼られるのです。歴史のある教会はある程度の自由が許されていますが、常に監視され、攻撃の危険にさらされています。ほとんどのクリスチャンは、パンジャブ州に住んでいますが、残念ながらこの州が迫害の震源地となっているのです。

国際社会は、悪化する状況に深刻な懸念の声を表明しました。パキスタン政府に対して宗教的少数派を保護し、人権を保障するように求めたのです。しかし、政府が進んで取り組んでいないこと、国全体にクリスチャンに対する偏見があることから、改善のスピードはとても遅いのです。



### 祈りの課題

1. 神さまが暴力、差別、不正からパキスタンのクリスチャンを守ってくださるよう。彼らが強められ、慰められて、迫害の中で忍耐し、信仰に堅く立つことができるように。
2. 迫害の被害者のために正義が行われるよう。冒瀆法のような差別的な法律が廃止され、クリスチャンや他の宗教的少数派の人々の権利が守られるような法改正が行われるように。
3. パキスタンのクリスチャンが迫害や差別を恐れることなく信仰をもって自由に生きることができるように。強制的な改宗がなくなるように、クリスチャン女性や少女たちが拉致や暴力から守られるように。
4. パキスタンのクリスチャンの迫害によって、彼らの信仰の灯が消えないように、かえって信仰が強められて、キリストのための証人となるように。
5. クリスチャンを迫害する人々の心と思いが造り変えられて、神さまの愛と赦しを知ることができるように。

### 3 ナイジェリア

ナイジェリアの人口は2億2200万人で、ナイジェリアのクリスチャンは、その半数近くいると言われています。それにもかかわらず、クリスチャンたちは、特に北部と中部で執拗な暴力と迫害の波にさらされています。ボコ・ハラムや西アフリカ・イスラミック・ステイト (ISWAP)、フラニ武装勢力などのイスラム過激派は教会を攻撃し、建物を破壊し、クリスチャンを誘拐し、性的暴行、殺人さえ行っています。こういった攻撃によって、多くのクリスチャンが移住を余儀なくされ、トラウマを受け、生活基盤を失いました。悲しいことに、ナイジェリアは世界中で信仰のゆえに殺害されたクリスチャンの数をもっとも多いのです。



少年や少女は、イスラム過激派の標的になっています。女性や少女たちは拉致され、性的暴行を受けています。直近の攻撃では、2024年6月2日、フラニの牧畜民と疑われている人物が、プラトー州の (Plateau State) 牧師とその妻、その他のクリスチャンを殺害しました。これはナイジェリアで暴力が続いていること、クリスチャンのために祈ること、行動することが急務であることを語っています。

ナイジェリアのクリスチャンはまた構造的な差別に直面しています。ナイジェリア北部のシャリア州 (イスラム) では、クリスチャンは二級国民として扱われ、様々な形の圧力と差別の下に置かれています。イスラム教から改宗した人々は、家族から拒絶され、信仰を捨てるように強い圧力を受けています。

危機に対するナイジェリア政府の対応は不十分で、クリスチャンを保護することも、加害者の責任を追及することもできていません。こうした不十分な対応は、過激化グループを増長させ、クリスチャンの苦しみを悪化させています。危機が深刻化する中で、国際社会はナイジェリアのクリスチャンの権利と安全を守るために、ますます懸念を募らせ、緊急措置を求めています。

#### 祈りの課題

1. ナイジェリアのクリスチャンに神さまのみ守りがあるように。特に暴力の激しい地域に住むクリスチャンのために、彼らの家、教会、地域が守られるように。
2. 暴力によって、愛する人を失い、家を失い、生活基盤を失った人たちに慰めと癒しのために。傷ついた心が回復し、希望を取り戻し、地域に平和がもたらされるように。
3. ナイジェリア政府が、たとえ信仰をもっていなくても、国民を保護する責任を果たせるように。政府のリーダーが平和、正義、信教の自由を促進する政策を制定するように。
4. 敵意に直面し、迫害を受けているナイジェリアのクリスチャンが信仰に堅く立つことができるように。聖霊によって強められ、勇気に満たされ、暗闇の中の光となる力を受けることができるように。
5. 迫害がナイジェリアで福音を広げる妨げとならないように。むしろ迫害を通して、リバイバルが起こり、神のみことばへの渇きが起こるように。神の民の苦難を通して、多くの人々が神さまご自身に立ち返り、ナイジェリアに変革がもたらされるように。

## 4 イラン

イランでは、イスラム教からキリスト教への改宗は違法であり、逮捕、投獄、拷問を受けることになります。イランの指導者たちは、回心してキリスト教になった人々を、国家の安全を脅かす存在と見なしています。イスラム教とイスラム国家を破壊していると非難するのです。これによりキリスト教は刑罰を受ける結果となります。長期にわたる懲役刑を受けたり、社会的権利を剥奪されるのです。



家の教会は当局の標的にされています。家の教会のメンバーは、宗教的活動に参加したという違法行為により、逮捕や投獄のリスクがあります。直近では、アノシャバン・アヴェディアン牧師が、懲役10年の判決を受けました。これはイランのキリスト教リーダーが直面する現実を示しています。

たとえ釈放されても、キリスト教は監視され続け、再逮捕の脅威の中で生活することになります。改宗してキリスト教になったシャベディン・シャヒ氏は、反政権の宣伝活動に加担したという容疑に問われ、二度目の聴取を受けました。このようにイランでは迫害が継続しているのです。

### 祈りの課題

1. イランのキリスト教に神さまのみ守りがあるように。特に投獄されて、罪に問われているキリスト教のために。迫害の中でも強められて、忍耐することができるよう、信仰に堅く立つことができるように。
2. 信仰のゆえに投獄されているイランのキリスト教が釈放されるように。投獄の中でも、心身ともに守られるように。
3. 迫害を受けているイランのキリスト教に正義が行われるように。信教の自由の権利を保護する法改正がされるように。イラン当局者たちが個人の信仰を認めることができるように。
4. イランのキリスト教が、危険の中でも大胆に信仰を証しできるように。その信仰の証しにより、人々の心と思いが変革されますように。
5. イランのキリスト教が苦難の中にあることに国際的な関心が高まりますように。各国政府や団体が人権のために声を上げ、イラン政府に迫害を止めるよう圧力をかけることができるように。